

平成24年7月17日

水都大阪のシビックプライド —市民が響く都市政策のかたち—

一般財団法人 アジア太平洋研究所は、平成23年度の研究調査活動「都市の活力と魅力研究会」(主査: 嘉名光市 大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻准教授)の研究成果をとりまとめました。

【研究の概要】

—これからの都市の活力と魅力とは—

1. 求められる「新しい都市政策のかたち」、欠かせない「響く都市政策」の視点

【インタラクティブ・ムーブメント/デリバリー・デザイン】「双方向性」と「実感」

・新しい都市政策としてのシビックプライドと実感できる都市の実現をめざす。

2. シビックプライド (市民が都市に対して持つ自負と愛着)という視点

【都市のコミュニケーションデザイン】なぜ必要か、どのように育むか、事例と効果

・従来からの「アイデンティティ」による個性化、「ストラクチャー」による骨格に加え、

これからは個々人の持つ都市に対する「ミーニング」を実感できる都市をめざす。

・シビックプライドはこれらから醸成され、これらを一つにつなぎとめる視点でもある。

3. エリアマネジメント (メインストリート・アプローチ、BIDなど米国標準)の仕組み

【都市のガバナンス】欧米をはじめ各地で積極的に展開されている動き

・日本でも、主要な大都市圏の都心で多数の試みが展開されている。

4. 実感できる都市空間の再生 (バルセロナ・モデルなど)

【都市の舞台性】 実感をわれわれの手に—プロジェクト主義の都市再生政策

・バルセロナには、アーバンデザインを貫くキーワードがある。

5. モデルスタディ —都市の活力と魅力から見た水都大阪の取り組み—

・平成23(2011)年「水都大阪 光と水のまちづくり構想」水都大阪推進委員会

6. 提案 (シビックプライド・プラザの設立ほか)

■大阪のブランドイメージの発信

■都市魅力のリテラシー育成

■都市ビジョンに対する提案

次ページ以降に報告書骨子を記載しています。

— お問い合わせ先 —

一般財団法人 アジア太平洋研究所 研究推進チーム 仲川、橋本

TEL 06-6441-0550 FAX 06-6441-5760

骨子

I. 研究の視点

これまでも、いわゆる都市再生論としてよく提示される視点にとらわれず、多面的かつ新しい都市のエンパワーメントの方法論を構築することに主眼を置いてきた。

- 「関西の都市創生に向けての提言—規制緩和、地区経営、ファイナンス—」(平成 17(2005)年 5 月)
- 「社交都心—21世紀版大阪の“都心の磁石”—」(平成 18(2006)年 12 月)
- 「水都ジェントリフィケーション—大阪 Triangle 構想—」(平成 20(2008)年 7 月)
- 「リ・アクティブ関西ビジョン—District(地区)中心による都市創生の提案—」(平成 21(2009)年 11 月)
- 「公的住宅ストックの活用と更新に着目した都市創生のあり方の研究」(平成 23(2011)年 7 月)

いま、都市・まちづくりをとりまく状況は大きく変化しつつある。
都市の活力と魅力を活かす政策とその論理的枠組みの提示が求められる。

新成長戦略や新しい公共の潮流に代表されるように、都市像のあり方そのものの議論に加え、そのプロセスや成果、担い手のあり方、コミュニケーションの重要性など活力をどのように高めていくかが問われる時代となっている。また、これまでの都市の強みとされる魅力のあり方も物的対象に留まらず、都市に暮らす人々そのものに焦点をあてるなど、都市の魅力の捉え方に変化もおきている。

II. 研究のポイント

1. 【インタラクティブ・ムーブメント/デリバリー・デザイン】「双方向性」と「実感」

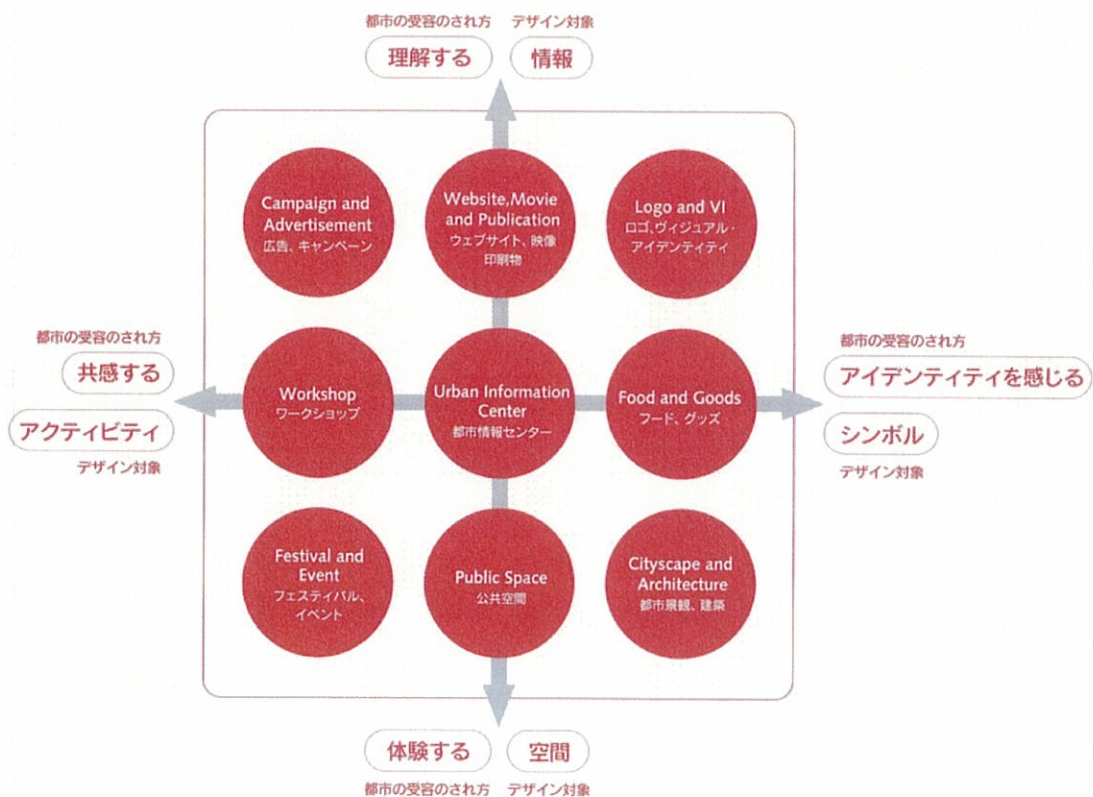


fig3. シビックプライドのアプローチ (p. 9)

2. 従来の「アイデンティティ」「ストラクチャー」に加えて、「ミーニング」の実感が必要
 (シビックプライドはこれらから醸成され、これらをひとつにつなぎとめる視点でもある)

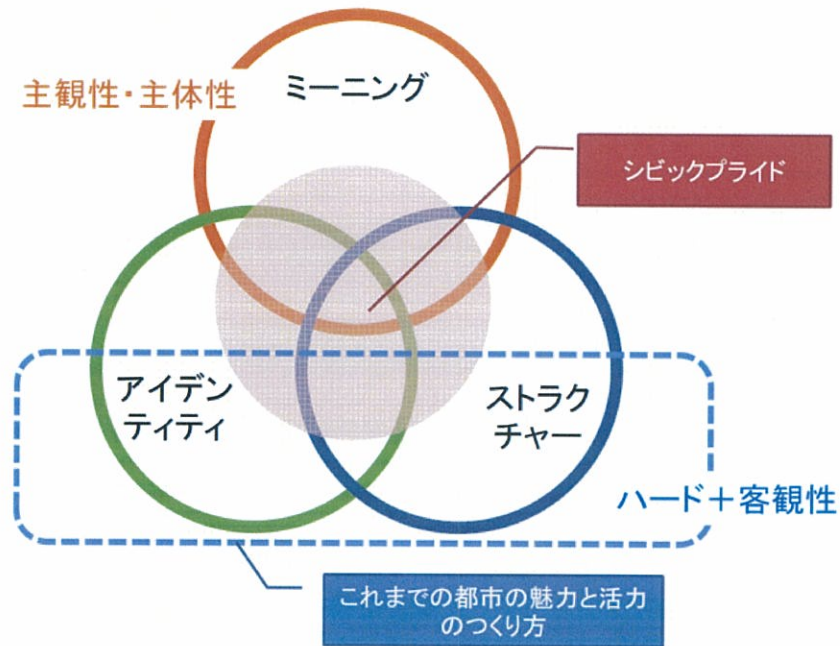


fig 10. シビックプライドの領域 (p. 19)

3. 【都市のガバナンス】エリアマネジメントの仕組み

日本での展開:「汐留地区街づくり協議会」「中間法人汐留ジオサイト・タウンマネジメント」「みなとみらい 21 街づくり協議会」大手町・丸の内・有楽町地区「まちづくり懇談会」「再開発推進協議会」「NPO法人エリアマネジメント協会」大阪での展開:OBP、船場、長堀などでの類似の取り組み、「御堂筋まちづくりネットワーク」「中之島まちみらい協議会」

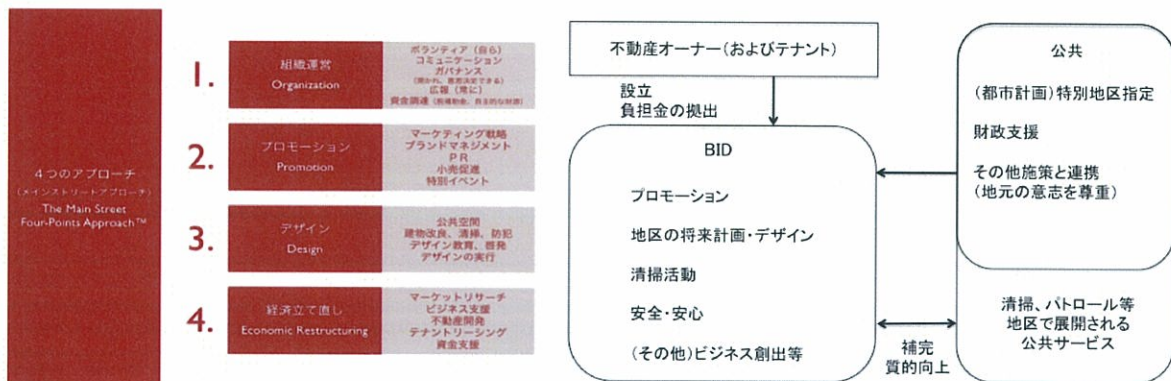


fig17. Main Street Approach (p. 27)

fig19. BID (Business Improvement District) (p. 29)

4. 【都市の舞台性】実感をわれわれの手にープロジェクト主義の都市再生政策

都市再生のバルセロナ・モデル (p. 34)

- 質の高い公共空間の創出、回復
- 戦略的な都市政策
- 「ミクロの都市計画」[microubanismo]
- 「部分から全体へ」(マスタープラン的発想の超克)
- 再生への柔軟な対応
- 多様な主体の計画への参加と都市空間特質の継承
- 公共空間を介した、地区住民の社会的文化的統合への試み

5. モデルスタディ —都市の活力と魅力から見た水都大阪の取り組み—

- (1) 背景—忘れ去られた水都大阪: 「水の都」から「煙の都へ」の流れ。戦後にさらに加速。
- (2) 水都大阪の再生へ: 平成 2(1990)年 国際水都首長会議 平成 21(2009)年 水都大阪 2009
- (3) 新たな段階へとステップアップを目指す水都大阪: 平成 23(2011)年 より高い目標を掲げて

6. 提案

- (1) シビックプライド・プラザの設立
- (2) エリアマネジメントの展開
- (3) 実感できる都市空間の整備
- (4) 都市の活力と魅力を捉える指標のあり方
- (5) 実現に向けての体制

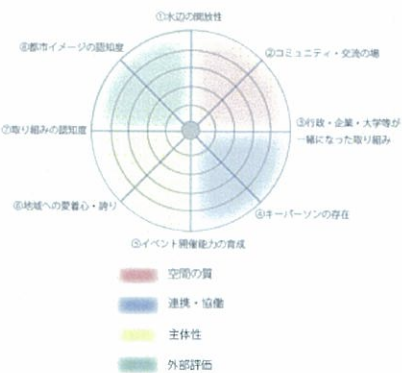
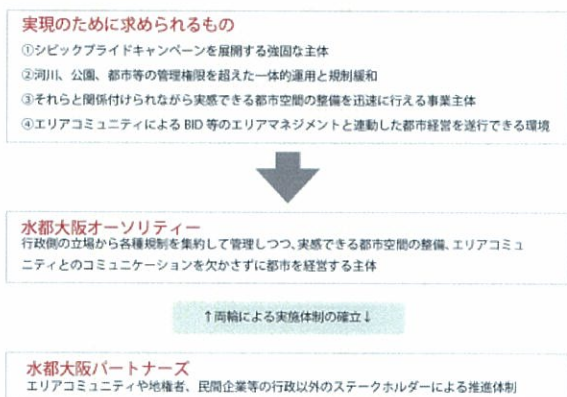
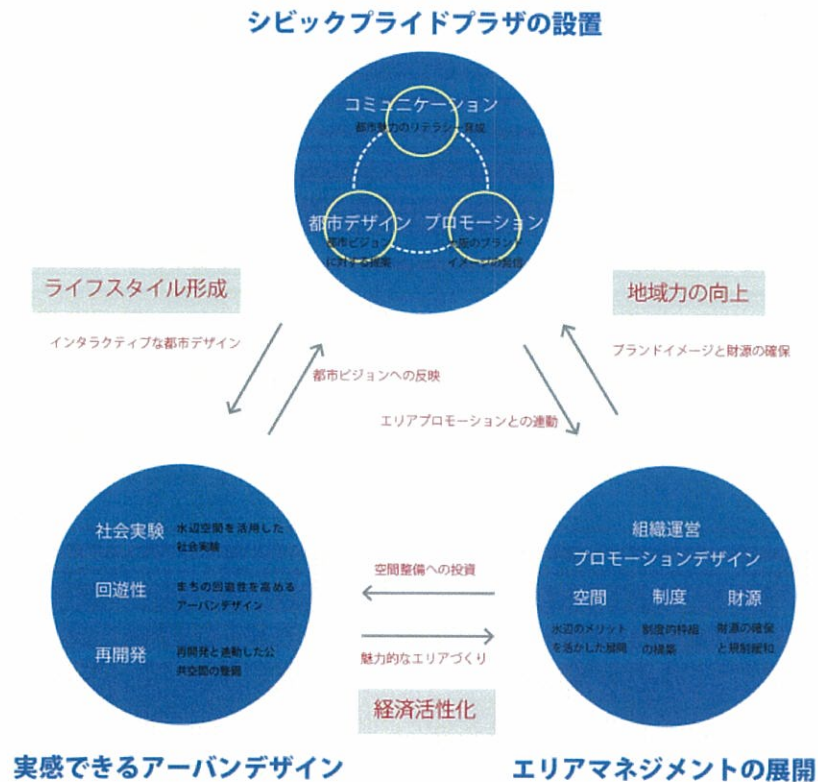


fig32. 水都大阪の都市の活力と魅力を創造する取り組み (p. 48)